



平成26年度4月

# 我 議会 と 会

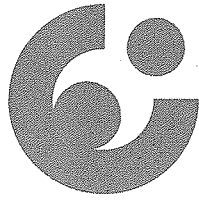
「町民の声」を町政に！

自由なご意見をお聞かせください。

テーマ

- ① 町民が町づくりの主演となる仕組みづくり... P1～
- ② 幼稚園の様々な課題の解決に向けて... P4～

主催：永平寺町議会



# 永平寺町民指標

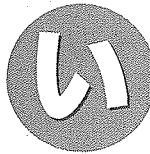
私たち永平寺町民は、美しい環境を守り、歴史と文化を大切にし、愛情に満ちた町を築きます。すべての町民が健康で安心して暮らせるふるさとを創ります。次の指標を私たちの合言葉とします。



笑顔であいさつを交わしましょう

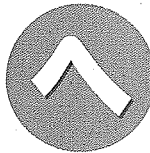
えがお

か



慈しみの心を育てましょう

いつく



平和なくらしと自然を守りましょう

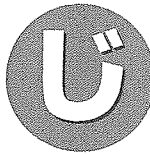
へいわ

しぜん



いつでも感謝の気持ちを持ちましょう

かんしゃ



自信と誇りを持ち活力ある町を築きましょう

じしん

ほこ

かつりよく

きず

町の花 梅  
町の木 油桐



# ①町民が町づくりの主役となる仕組みづくり

- 1 河合町長は第1回町議会定例会の提案理由の中で「町民が町づくりの主役となる仕組みづくり」の所信を表明しています。

## 「町民が町づくりの主役となる仕組みづくり」

公民館単位に町民の皆様と町の連携強化を図る新しい地域組織を構築します。

- ・ みんなでつくるみんなの町をめざし、町民が主役、町民参画を拡大します。
- ・ 公民館（小学校区）で振興会を組織し、町への要望等、地域のことは、地域で決める仕組みをつくりまします。

町内の90の各区等から年間約500件の要望が出されています。

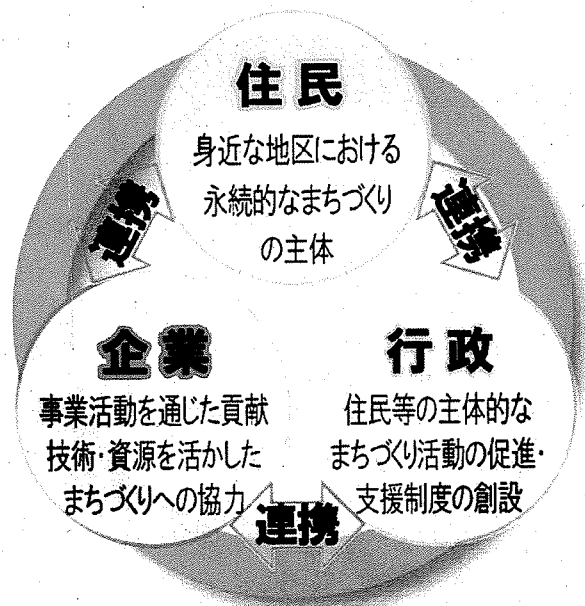
これらの要望を振興会で取りまとめ、振興会の代表者協議会でさらにまとめ、町と審議審査していく仕組みをめざします。

- ・ 振興会は、自らが運営し、町は地域振興担当者の配置、地区振興会補助金等で支援します。

- 2 “町民が町づくりの主役となる仕組み”については「永平寺町都市計画マスタープラン」（平成22年3月策定）で計画されています。

## 住民主体のまちづくりを進める必要性

- ・ 人々の価値観やライフスタイルの多様化に伴い、まちづくりに対するニーズはますます多様化・高度化しており、財政の厳しさが増し施策の選択と集中が求められる中、行政がすべてのニーズに応えていくことは困難な状況となっています。
- ・ 質の高い生活空間の形成やサービス水準を確保し、みんなが「住みたい」と思える暮らしやすいまちを実現するためには、住民と行政が協力してまちづくりを進める必要があります。
- ・ また、主体的にまちづくり活動に取り組むことが地域への愛着、誇りを醸成し、「住みたい」という想いを深めたり、次世代の定住を促したりする一面があります。
- ・ 町内の企業は、事業活動を通じてまちづくりに貢献するとともに、様々な方法でそれぞれの企業が有する技術や資源等を活かしてまちづくりに積極的に協力することにより、社会的責任を果たすことが期待されます。
- ・ このため、行政は住民等の主体的なまちづくりを促進・支援する仕組みの構築に取り組みまします。



## 住民主体のまちづくり

協働のまちづくりを進める体制の検討・準備

主体的まちづくり組織の設立促進  
小学校区単位で住民主体で自治と振興に取り組む協働の仕組み  
まちづくり組織同士の連携促進

協働事業の創出  
まちづくり組織の活動拠点づくり

平成23年度より

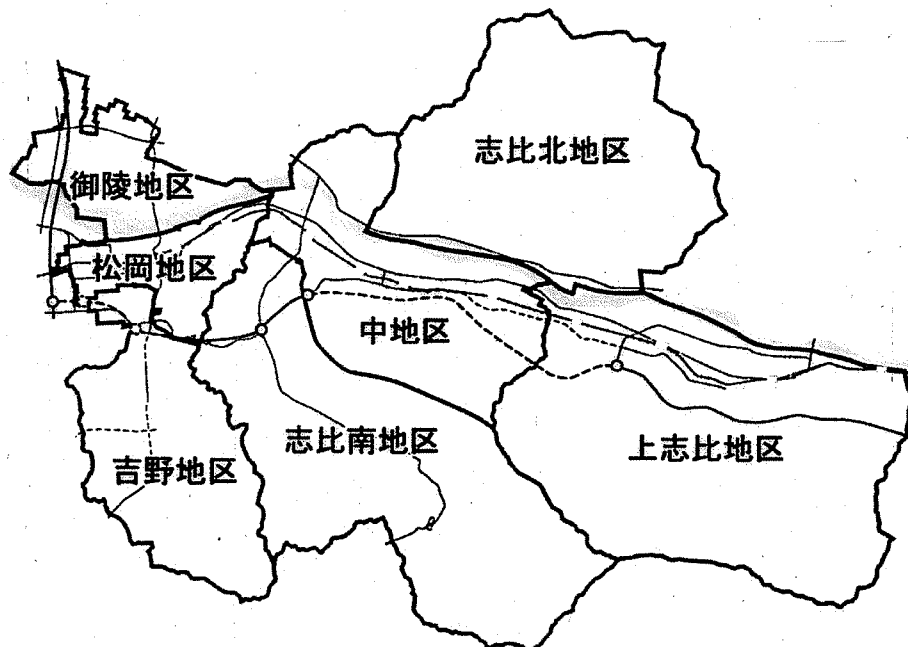
(短期 概ね5年程度)

(中期 概ね10年程度)

(長期 10年以上)

## 地区別まちづくり構想

- ・御陵地区のまちづくり
- ・志比北地区のまちづくり
- ・上志比地区のまちづくり
- ・松岡地区のまちづくり
- ・中地区のまちづくり
- ・吉野地区のまちづくり
- ・志比南地区のまちづくり



③ ①、②で求められる仕組みにはなっていないが各々の目的、事業内容等で活動している“まちづくり、地域づくり組織”は次の振興連絡協議会です。

上志比地区振興連絡協議会

志比北振興連絡協議会

吉野地区振興連絡協議会

御陵振興連絡協議会

4 “町民が町づくりの主役となる仕組み”について町議会是一般質問等でも取りあげています。

- 平成23年9月議会 -

問 地域には、それぞれの課題があると町長はよく表明している。私は、それぞれの地域の振興や課題の整理、取り組みは区長会だけでできるものではないと思っている。人口減や流出、少子高齢化などの課題がありながら、地域振興と名の付いた組織は数地区しかなく、それらも地域の課題に恒常的に対応できる組織にはなっていないようだ。

各地区の課題から、地域づくりや担い手の育成を公民館中心に、地域を担う組織をつくり、対応できるようにしてはどうか。

答 地域づくりの中心が公民館であることは望ましい一つの形です。しかし、貸し館業務が中心になっていて、まちづくりに結び付けられる自治公民館でないのが現状です。

地域づくりは住民自らの手で進めるのが一番で、町としても地域振興を担う組織づくりを支援したいと思います。

- 平成25年6月議会 -

問 住民は、区長から要望を幾ら上げてもしてくれないと思うこともある。限りある予算の中、この多くの要望や、後になる要望の情報が公開されていれば納得いただけるのではないか。

町内すべての今年取り上げる要望、回答、計画等を区長、団体に報告すべきではないか。 または、全ての小学校単位で振興会をつくり、各区の要望を取りまとめ、振興会の代表者協議会でさらにまとめ、行政と審議・審査していく仕組みづくりを行うべきでないか。

答 意見は十分これから考えて参考にしていきたいと思うが、多くの要望、年ごとに変わる要望、順番、10年前からの要望、新しい要望…こういった状況もあることも理解してほしい。

- 平成25年12月議会 -

問 永平寺町都市計画マスタープランで、小学校区で地区の自治、振興に取り組むまちづくり組織の設立を示している。少子化対策、防災・防犯対策等で、まちづくり組織の設立が急がれる。町の考えは。

答 住民が企画立案段階から参画し、行政と協働によるまちづくりを推進する体制づくりを進めたい。

## ② 幼稚園の様々な課題の解決に向けて

2月25日付の地元新聞で、河合町長のインタビュー記事掲載「職員数の削減は、まず役場の効率化。サービスを低下させない形で進め、幼稚園などの民営化も検討したい」となっています。

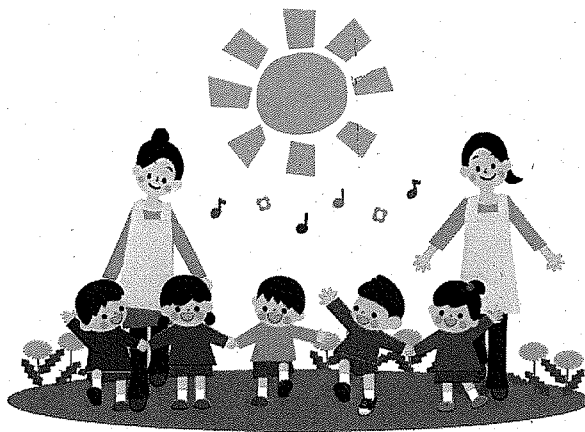
⇒ 幼稚園関係者・保護者らにインパクト

### 【3月議会では】

町長の所信表明には民営化についてふれられなかったが、議員からは一般質問の形で三人三様の質問（主張も含む）がありました。

### 【一般質問に対する町長の答弁】

「インタビューの記事は、前後の話が省かれ、真意が伝わっていない。全ての幼稚園の民営化は考えていない。行財政改革における公共施設の再編という考え方だけでなく、正職員の比率の低いこと、保護者の様々なニーズ、例えば長時間保育、特色ある保育運営などの課題解決に向けて、一部民営化は一つの案として考えておかなければならないと思う。あくまでも課題解決のための一つの案として検討を始めるということだ。それも議会をはじめ、保護者や地域の意見を聞き、さまざまな角度から検討していきたい。」というものでした。



## 【議員の主張】

民営化は

### 「良い」という意見

- 子育ての住民のニーズは多様で、公立か私立かを選択できることに意味がある。
- 坂井市では公立と私立が半々だが、私立ではほぼ毎年定員に達している。公立では85%前後を推移している。
- 国の保育所への補助は、施設整備費、運営費を含めて私立のみが対象。公立は地方交付税での一部増額があるのみ。私立の方が圧倒的に有利ということ。
- 福井市ではすでに総園数80園のうち私立は52園。園児の73%は私立。
- 保育所施設整備費は国1/2、市1/4、事業者1/4で、町の場合でも公立保育所の1/4に軽減される。
- 建物を民間法人に譲渡なので、改修・修繕費も町負担でなくなる。

民営化は

### 「良くない」という意見

- 民営化に対する反対論も出ている。
- 正職員の比率や保護者の多様なニーズらにも公立でも対応できる。
- 国の民営化のねらいは行政が手を離すことで私立が参入しやすくし、認可基準も低くしている。安全面でも大きな不安が残る。
- 私立はやはり営利主義に陥りやすい。安全面、サービス面でも不十分と懸念される。
- 特別な教育、英才教育らを打ち出している私立もあるが、これでは園児にゆったりした保育が保証できない。園児に余計なストレスを与えるのでは。
- 民営化推進のねらいの前提は、待機児童の多さにあるが、永平寺町はそれには当たらない。

## その他

- 民営化の可能性を探る検討はしてもいい。
- 10ある幼児園のうち、1つか2つ程度であれば民営化の長所も、公立の長所も両立できるのではないか。

いずれにしても、さまざまなシミュレーションを想定し、じっくりと検討すべきです。この際、住民の皆さんをはじめ関係者に多くの色々なご意見をいただき、議会でも話し合っていきます。